



沼田の皆さんへ

沼田市で過ごしたこの2年間は、本当にあとと言う間でした。
2年前の8月、沼田に来たときのことを今でもよく覚えています。
当時は「私の日本語力で国際交流員としての仕事をできるのか」
「市役所の中で仕事ができるのか」など、不安と緊張でいっぱいでした。

翻訳や通訳をはじめ、姉妹都市フュッセホ市訪問団のアテンド、
市民向けのドイツツアー、ドイツ文化についての講演などもしてきました。
初めての体験ばかりでしたが、一番印象に残っているのは学校訪問です。
日本の学校はドイツの学校とかなり違い、面白いことだらけでした。
ドイツにはスリッパの文化がなれたため、廊下を履いて歩くだけで飛んだり
したことも。給食も衝撃でした。日本の漫画やアニメに出てくる学校と
同じであることにビックリしました。

学校訪問が一番好きだった理由は、かわいい子どもたちの素直な
反応でした。私自身に対してもそうです。ドイツ紹介のときの「へえ〜と
「っ！」の反応はとても好きでした。ドイツ語の挨拶を教えた子どもたち
から、街で「ハロー」と声をかけられたとき、心がとろけそうになりました。

市民の皆さんを対象にした講演やドイツ料理教室、FM-OZEの
ラジオ番組でドイツの紹介をしたことも大切な思い出です。私自身も
ドイツについてたくさん勉強し、自分の国を改めて違う視点から見る
こともできました。毎日勉強しながら自分自身も成長できたと思います。
これは、同僚や市民の皆さんがいつも優しく、困ったときには助けて
いただいたからです。本当にありがとうございました。忙しくて
大変なときもありましたが、皆さんのおかげで、沼田での2年間は
とても楽しく過ごすことができました。皆さんも広報ぬまたの
「ぬまたのいいね!ドイツ」を読んだり、「クリスマスマーケット in ぬまた」など
のイベントに参加したりして、少しでもドイツを身近に感じられましたか?
興味が出て、ドイツに行きたくなったかな?

ドイツに帰りますが、沼田にはまた遊びに来たいと思います。
ということで、日本語の「さようなら」ではなくて、ドイツ語で
また会いましょうという意味の「Auf Wiedersehen」という言葉を
皆さんに贈ります。それでは皆さん、アウフ ウィーダーゼーエーン!

Christine Zane
クリスティーネ・バウアー